

報告項目(案)(未定稿)

※原則としていずれの機能を選択しても、以下の全ての項目について報告することとする。

- : 概ね外科のみで実施されると考えられる項目
- ☆: 医療計画において示されている指標例に類すると考えられる項目
- #: 構造設備・人員配置等に関する項目のうち、有床診療所からの報告を求めるもの
- △: 前回の資料からの変更点

第12回病床機能情報の報告・提供 の具体的なあり方に関する検討会	資料2
平成26年7月24日	

担う役割	具体的な項目	病棟単位で報告を 求める項目		病院単位で 報告を求め る項目	備考	
			レセプト を活用			
医療機能	# 現在の機能、将来時点の機能の予定	○				
(1) 構造設備・人員配置等に関する項目						
病床数・人員配置・機器など	# 許可病床数(療養病床の場合そのうち介護療養病床の数)	○				
	# 稼働病床数(療養病床の場合そのうち介護療養病床の数)	○				
	# 一般病床、療養病床の別	○				
	# 医療法上の経過措置に該当する病床数	○				
	# 看護師数、准看護師数、看護補助者数、助産師数	○		○	傾斜配置も含め病棟毎の配置を記載する。また、外来、手術室も別途記載する	
	# 理学療法士数、作業療法士数、言語聴覚士数、薬剤師数、臨床工学技士	○		○	病棟単位も記載する	
	# 主とする診療科	○			一つの病棟を複数の診療科で活用することを基本とする場合の選択肢を設ける	
		算定する入院基本料・特定入院料	○	(○)		
		DPC群			○	
		在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、在宅療養後方支援病院の届出の有無			○	
		上記届出を行っている場合、医療機関以外での看取り数、医療機関での看取り数			○	介護老人保健施設等の入所施設は医療機関以外に含む
	☆	二次救急医療施設、救急告示病院の有無			○	
		64列以上のCT			○	
		16列以上64列未満のCT			○	
		16列未満のCT			○	
		3T以上のMRI			○	
		1.5T以上3T未満のMRI			○	
		1.5T未満のMRI			○	

報告項目(案)(未定稿)

担う役割	具体的な項目	病棟単位で報告を 求める項目		病院単位で 報告を求め る項目	備考
			レセプト を活用		
	血管連続撮影装置			○	デジタル・サブトラクション・アンギオグラフィー法を行う装置
	SPECT			○	
	PET			○	PETCT・PETMRIを含む
	強度変調放射線治療器			○	
	遠隔操作式密封小線源治療装置			○	
	退院調整部門の設置			○	
	退院調整部門に勤務する人数			○	
入院患者の状況	# 新規入棟患者数	○			
	# 在棟患者延べ数	○			
	# 退棟患者数	○			
	入棟前の場所別患者数	○			①～⑥毎に人数を記載する ①院内の他病棟からの転棟、②家庭からの入院、③他の病院、診療所からの転院、④介護施設・福祉施設に入所中、⑤院内の出生、⑥その他
	予定入院及び緊急入院の患者数	○			
	退棟先の場所別患者数	○			①～⑧毎に人数を記載する ①院内の他病棟への転棟、②家庭への退院、③他の病院、診療所への転院、④介護老人保健施設に入所、⑤介護老人福祉施設に入所、⑥社会福祉施設に入所、⑦終了(死亡を含む)、⑧その他
	退院後に在宅医療を必要とする患者数	○			他施設から提供される場合も含む

報告項目(案)(未定稿)

担う役割	具体的な項目	病棟単位で報告を 求める項目		病院単位で 報告を求め る項目		備考
			レセプト を活用			
(2)具体的な医療の内容に関する項目						
幅広い手術の実施	手術総数(臓器別を含む)		○			手術のうち輸血管理料を除く。また外保連試案を活用し、難易度別の分析を行う
	全身麻酔の手術件数(臓器別を含む)		○			麻酔のうちL007開放点滴式全身麻酔又はL008マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔と手術(輸血管理料を除く)を同時に算定しているものとする
	● 胸腔鏡下手術件数		○			術式に”胸腔鏡下”が含まれる手術とする
	● 腹腔鏡下手術件数		○			術式に”腹腔鏡下”が含まれる手術とする
	● 内視鏡手術用支援機器加算(K939-4)		○			
がん・脳卒中 ・心筋梗塞等への治療	●☆ 悪性腫瘍手術件数		○			術式に”悪性腫瘍”が含まれる手術とする
	☆△ 病理組織標本作製		○			
	●☆△ 術中迅速病理組織標本作製		○			
	☆ 放射線治療件数		○			放射線治療のうち血液照射を除く
	☆ 化学療法件数		○			薬効分類における腫瘍用薬を用いている件数とする
	☆△ がん患者指導管理料1及び2		○			
	☆ 抗悪性腫瘍剤局所持続注入		○			
	☆ 肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入		○			
	●☆ 分娩件数	○				正常分娩を含む
	☆ 超急性期脳卒中加算		○			
	●☆ 脳血管内手術		○			
	☆ 経皮的冠動脈形成術		○			
	☆△ 入院精神療法(I)		○			
☆△ 精神科リエゾンチーム加算		○				
重症患者への対応	☆ ハイリスク分娩管理加算		○			
	☆ ハイリスク妊産婦共同管理料(II)		○			
	☆ 救急搬送診療料		○			
	観血的肺動脈圧測定		○			
	持続緩徐式血液濾過		○			
	☆ 大動脈バルーンポンピング法		○			
	☆ 経皮的心肺補助法(K602)		○			
	● 補助人工心臓・植込型補助人工心臓		○			
	頭蓋内圧測定1日につき		○			
	● 人工心肺		○			

報告項目(案)(未定稿)

担う役割	具体的な項目	病棟単位で報告を 求める項目	病院単位で 報告を求め る項目		備考
				レセプト を活用	
	血漿交換療法		○		
	吸着式血液浄化法		○		
	血球成分除去療法		○		
	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	○			A得点が2点以上の割合、B得点が3点以上の割合もそれぞれ記載する。当該病棟で算定している入院基本料等において、必要度の測定を必須としていない場合は報告しなくて差し支えない。
救急医療の実施	☆ 院内トリアージ実施料		○		
	☆ 夜間休日救急搬送医学管理料		○		
	☆△ 精神科疾患患者等受入加算		○		
	☆ 救急医療管理加算1及び2		○		
	☆ 在宅患者緊急入院診療加算		○		
	☆ 救急搬送患者地域連携紹介加算		○		
	☆ 地域連携診療計画管理料		○		
	救命のための気管内挿管		○		
	体表面ペースティング法又は食道ペースティング法		○		
	非開胸的心マッサージ		○		
	カウンターショック		○		
	心膜穿刺		○		
	食道圧迫止血チューブ挿入法		○		
	休日又は夜間に受診した患者の数			○	休日：日曜日及び国民の祝日に関する法律第3条に規定する休日 1月2日及び3日並びに12月29日、30日及び31日 夜間：午後6時から翌日の午前8時(土曜日の場合は、正午以降)
	☆ 上記のうち診察後、直ちに入院となった患者数			○	
	☆ 救急車の受入件数			○	
急性期後の支援 ・在宅復帰への支援	退院調整加算1		○		
	退院調整加算2		○		
	救急・在宅等支援(療養)病床初期加算		○		
	救急搬送患者地域連携受入加算		○		
	地域連携診療計画退院時指導料I		○		
	退院時共同指導料2		○		
	介護支援連携指導料		○		
	退院時リハビリテーション指導料		○		
退院前訪問指導料		○			

報告項目(案)(未定稿)

担う役割	具体的な項目	病棟単位で報告を 求める項目		病院単位で 報告を求め る項目	備考
			レセプト を活用		
全身管理	中心静脈注射		○		
	呼吸心拍監視		○		
	酸素吸入		○		
	観血的動脈圧測定 1日につき		○		
	ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄		○		
	人工呼吸 1日につき		○		
	人工腎臓、腹膜灌流		○		
	経管栄養カテーテル交換法		○		
疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーション	☆ 疾患別リハビリテーション料		○		心大血管、脳血管疾患等、運動器、呼吸器、難病患者、障害児(者)、がん患者、認知症患者の別
	早期リハビリテーション加算		○		
	初期加算		○		
	摂食機能療法		○		
	リハビリテーション充実加算		○		
	体制強化加算		○		
	休日リハビリテーション提供体制加算		○		
	入院時訪問指導加算		○		
	リハを要する状態にある患者の割合	○			
	平均リハ単位数／患者・日	○			
	1年間の総退院患者数	○			
	上記のうち、入棟時の日常生活機能評価が10点以上であった患者数	○			
	上記のうち、退棟時(転棟時を含む。)の日常生活機能評価が、入院時に比較して4点以上(回復期リハビリテーション病棟入院料2または3の場合には3点以上)改善していた患者数(日常生活機能評価(ADL)の改善の程度)	○			

報告項目(案)(未定稿)

担う役割	具体的な項目	病棟単位で報告を 求める項目		病院単位で 報告を求め る項目	備考
			レセプト を活用		
【長期療養患者の受入】	療養病棟入院基本料1・2(A~I)		○		
	褥瘡評価実施加算		○		
	重度褥瘡処置		○		
	重傷皮膚潰瘍管理加算		○		
【重度の障害者等の受入】	難病等特別入院診療加算		○		
	特殊疾患入院施設管理加算		○		
	超重症児(者)入院診療加算・準超重症児 (者)入院診療加算		○		
	強度行動障害入院医療管理加算		○		
	(再掲)難病患者リハ、障害児(者)リハ		○		
【有床診療所の多様な機能】	(再掲)手術総数・全身麻酔の手術件数		○		
	☆ 往診患者数	○			
	☆ 訪問診療数	○			
	医療機関以外での看取り数、医療機関での 看取り数	○			介護老人保健施設等の入所施設は医療機関以外に含む。
	有床診療所入院基本料(1~6)及び有床診療 所療養病床入院基本料(A~E)		○		
	(再掲)分娩件数	○			
	急変時の入院件数	○			
	過去1年間の新規入院患者のうち、他の急性 期医療を担う病院の一般病棟からの受入割 合	○			
	# 有床診療所の病床の役割	○			下の①~⑤のうち担っている役割を選択する(複数選択可) ①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡しとしての 機能、②専門医療を担って病院の役割を補完する機能、③緊急時に 対応する医療機能、④在宅医療の拠点としての機能、⑤終末期医療 を担う機能